

池端 正 の^{そら}宇宙 - (2) ~川柳 10 句~

12 期 池端 正

某新聞社の「川柳コーナー」への入選 90 句の中から 10 句を選んでみました
() は投句年です。

(1994年)

- ・定年の後の無趣味が恐ろしい

(1995年)

- ・ぼんやりとたたずむ夢二の絵の美人
- ・皺枯れの手で描く瑞々しい裸像

(1997年)

- ・ジープンの見様見真似の風の盆

(1998年)

- ・サーカスに息呑むジュース持ったまま
- ・創世記斜めに読んだだけの縁

(1999年)

- ・マイウェイ妻を不幸にしてるかも
- ・写真家に女体オブジェになってくる
- ・遠州の庭にヌードのモデル嬢

(2001年)

- ・春風に尻もちをつく一歳児

(2006年)

- ・原発を宙に浮かせる票の数

(2008年)

- ・コロのないおでんに舌が寂しがる

(2009年)

- ・他人には優雅に見える二重顎

(2010年)

- ・強がり^を妻はにっこり受け止める

(2012年)

- ・青の洞門恩讐遙か鑿の後



(12 期 池端 正 様)

(2013年)

・コップより両手が旨い岩清水

(2017年)

・シュレッダーにかけても浮かぶ罪意識

(2020年)

・後世に伝えん炎天のマスク

(2022年)

・魂とたましい決闘するゴング

池端様は大阪の娘さん宅に同居しておられます。今回の寄稿に際して娘婿である中村隆茂(たかしげ)様より下記のメールを頂いております。中村隆茂様には北辰会からのメール連絡や池端正様の文章入力などの労として頂き大変お世話になっております。(事務局)

From: 中村 PC

Sent: Thursday, July 28, 2022 1:02 PM

To: 前田 直人

Subject: 池端 正 の川柳を送らせていただきます

いつもお世話になります。先日、北辰会の HP を本人に見せたところ、大変喜んでおりました。とりわけ、旧友の新井實さんが投稿された文章を読んで大変懐かしがっておりました。

さて、先日もお伝えしましたとおり、父は以前から川柳を作句することをライフワークとして余生を過ごしています。「川柳塔」という川柳を専門とする雑誌の同人として作句に励んでいます。また、朝日新聞の「なにわ柳壇」というコーナー(毎週水曜日の朝刊)に「丹後屋肇」という雅号で投句しており、現時点で90句入選しています。本人は、100句入選を目指して励んでいます。本人が言うには、100句入選すれば句集を上梓すると意気込んでいます。今回、90句の中から本人がアトランダムに選んだ19句を送らせていただきます。そちらの紙面のご都合もあるかと思しますので、良しなお取り計らいください。

